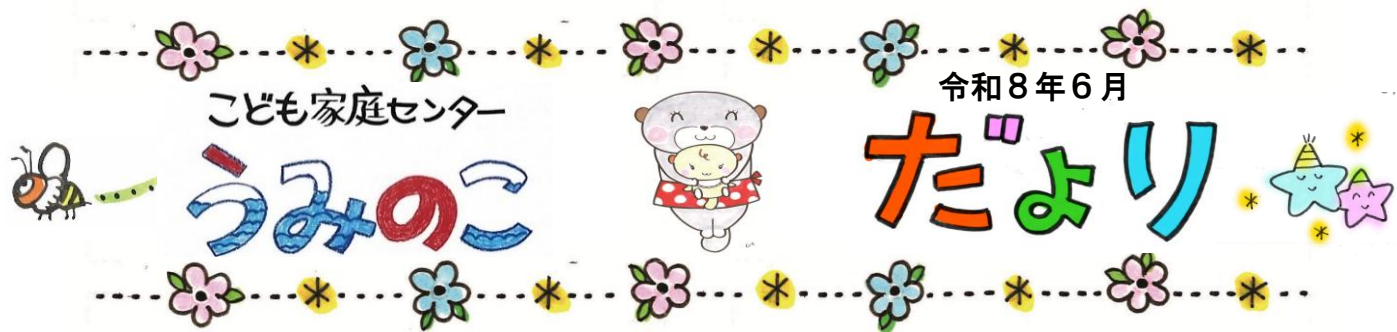




孫育ての新常識 じいじ・ばあばの役割 (メリット編)



初めての育児に不安を感じるパパママにとって、実の親や義理の親が子育てを手伝ってくれるのは、心強いですね。特に共働きの場合、子育てをサポートしてもらっていることが多いようです。祖父母が「孫育て」をしてくれることは、パパママはもちろん、祖父母や子どもにも様々なメリットがあります。そこで、じいじ・ばあばの孫育てのメリットについて考えてみましょう。

いろいろなメリットがあるよ！

【祖父母にとって】孫からじいじ・ばあばと慕われると、心が癒されるとともに自分が必要とされているという新たな生きがいにつながります。

【パパママにとって】核家族化で、赤ちゃんに触れる機会が少なかったパパママは、子育ての戸惑いや不安を一人で抱え込んでしまいがち。昔と今の子育ての方法は違うこともありますが、子育ての先輩の祖父母は、話を聞いてもらえる相手として大切な存在です。共働きの家庭にとっては、子どもが急に発熱！！でも、仕事を休めない…といった時に、保育園のお迎えや看病をお願いできるありがたい存在でもあります。たまには、じいじ・ばあばに預けてママ自身もリフレッシュできます。

【子どもにとって】親以外に愛情を注いでくれる存在がいると、子どもの情緒が安定し、自己肯定感が育かれます。また、親とは違う価値観を持った祖父母とのコミュニケーションは、多様性を肌で感じることができ、他者への思いやりや理解が生まれます。



じいじ・ばあばに知ってほしいこと

子育てをするのはパパとママ。じいじ・ばあばは、あくまでもサポートする役割です。子世帯は慣れない子育てに右往左往。いろいろ言いたいこともあるし手も出したいところでしょうが……。でも、子育ての主体はパパとママ。じいじ・ばあばは、少し距離を置いて、おおらかに見守り、パパやママの教育やしつけにあれこれと口出ししないことが大切です

じいじ・ばあばに預けるためのちょっとしたアドバイス

祖父母にしてほしくないと思うことは相談という形をとってみましょう



孫には甘い祖父母。「お菓子は食べさせてほしくない」と思って、預けることに躊躇することもありますね。そんな時は「甘いものを食べると、ご飯を食べなくて困ってるんです。お腹すいてないのかな？どうしたらいいのかな」と祖父母に相談という形で伝えてみると「そうだね。それは困るね」とかかわり方を考えてもらえるのでは。頼られると嬉しいおじいちゃん、おばあちゃんです。

「孫疲れ」に注意しましょう

孫の世話に疲れる祖父母も増えていて「孫疲れ」という言葉もあるようです。自分の親だから昔と変わらないイメージがあるかもしれませんが、年齢を重ねると体力や気力は低下します。祖父母にとっては、動き回る子どもの相手はかなりの重労働。それを踏まえて、預ける頻度や時間を検討しましょう。



食物アレルギーについて伝えましょう

子どもに食物アレルギーがある場合は、食べさせてはいけない食材をはっきり伝えましょう。NG食品を書いたリストを渡す等して事故を防ぎましょう。一般に祖父母の世代は食物アレルギーに対する意識が低く「食べて慣れれば治る」と考える人もいるかもしれません。

そして「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えましょう。そうすることで次回も気持ちよく預かってくれるに違いありません。



祖父母に預けられない方も多いと思います。「私だって子どもを預けてリフレッシュしたい！」そう感じられた時は子育てコンシェルジュが「子育てサービス」の紹介をさせていただきます。気軽に声をかけてくださいね。



母子健康手帳を受け取られてから、子どもさんが18歳に成長するまで「妊娠から子育てのこと」を一緒に考えていきましょう！気軽にいつでも訪ねてきてください。

お電話やメールでもOKです。

TEL：0533-56-2305 メール：uminoko@city.gamagori.lg.jp

